

心輝け子どもたち!

名古屋市道德研究会研究発表会 開催 1月18日(水) 教育館にて

テーマ研究部会

考え、議論する道德の授業

－問題解決的な学習等を取り入れて－

道德的な問題について子どもたちが自分の考えをもち、他者の多様な考え方・感じ方と出会い交流する中で、それぞれが問題を解決する学習を取り入れた実践を行いました。

問題解決的な学習を取り入れた実践例を紹介



気持ちのキーワード化

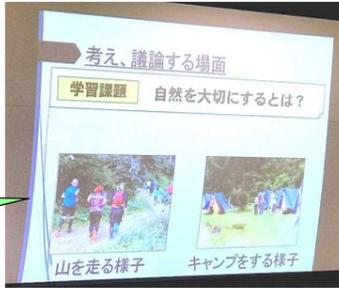
気持ちをキーワード化して選択させることで、自分の立場を明確にさせることができました。また、その後の、意見交流によって考えを深めさせることができました。

発問の工夫

子どもたちが自然に課題を意識できるようにするために、発問を工夫したことで、話し合いが盛り上がりました。挿絵の表情に注目させたことも効果的でした。

資料を比べる

読み物資料と写真資料を比べさせることによって、課題をもたせることができました。その後の議論では、多様な意見が出て活発な話し合いとなりました。



授業づくり研究部会

子どもたちが夢中になって考えられる道德の授業

－ワークシートの活用を通して－

道德の授業での書く活動に注目し、ワークシートを活用した実践に取り組むことで、夢中になって考えられる道德の授業を目指しました。

ワークシートのよさ

- 思考を深めることができる
- 評価に生かすことができる

数直線に○

数直線を描き、○を付けさせました。そして、理由を考えさせることで、多様な考え方や思考の揺れを引き出すことができました。



補助発問の工夫

意見が意図しない方向へ行ったときには、ねらいにせまる補助発問をしましょう。

会報を

お届けしました!!

ぜひ学校全体でご活用ください。



『合同学習会』

道德の指導方法や、道德の授業についての素朴な疑問など、みんなで話し合って解決する学習会です。各部会後に行われています。

部員以外の方も参加できます。お気軽にご参加ください。



市道德研究会顧問校長・あいさつ
栄小学校長 森久晃

特別の教科「道徳」が、小学校では平成30年度から、中学校では平成31年度から始まります。年間35時間の授業時数を確保し、道徳指導を円滑に進める準備は進んでいるでしょうか？

ちょっとしたアイデアの積み重ねがよい授業となり、子どもたちが道德的価値について深く学ぶことにつながります。

研究会の発表や会報を、それぞれの学校の道徳の授業に生かしてもらいたいと願います。



教育委員会
指導室指導主事・指導助言
梶田勉先生

道德の教科化により、道德教育の重要性が、さらに増してきています。

テーマ研究部会の発表からは、多様な意見が出され、互いを認め合う学習活動の中で、道德的価値を自分のこととして学ぶことができると感じました。

授業づくり部会の発表からは、指導方法を工夫することで、よりよい選択や判断について多面的・多角的な見方ができるようになることが分かりました。

いろいろな指導法にチャレンジしていただき、子どもたちが良質な道德の授業を受けられることを期待します。



教育センター
指導主事・指導助言
加藤兼幸先生

テーマ研究部会については、より具体的に分かりやすい言葉を選ぶことで、子どもたちは道德的価値の具体的な姿がイメージできるのだと思いました。

授業づくり部会については、記述すると表現が固くなりますが、問い返したり、発問を重ねたりすることで、子どもの思いは広がりを見せるのだと思いました。

教科化目前です。1時間を大切に、目の前の子どもたちのために道德教育に取り組んでもらいたいと考えます。

道德の「教科化」に向けて

今回は、文部科学省の「道德教育に係る評価等の在り方に関する専門家会議」の報告(平成28年7月22日)の「4 質の高い多様な指導方法」について、ポイントをご紹介します。

概要では、以下のように説明されています。

《道德科の指導方法》

単なる話し合いや読み物の登場人物の心情の読み取りに偏ることなく道德科の質的転換を図るためには、学校や児童生徒の実態に応じて、

問題解決的な学習など質の高い多様な指導方法を展開することが必要

質の高い多様な指導方法として、以下の三つの学習について取り上げています。

① 読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習

登場人物に自分を投影して、その判断や心情を考へることにより、道德的価値の理解を深めることができる学習

② 問題解決的な学習

道德的価値に関わる問題や課題を主体的に解決するために必要な資質・能力を養う。問題場面について、自分の考えの根拠を問う発問や、自分に当てはめて考えることを促す発問、道德的価値の意味を考へさせる発問などによって、道德的価値を実現するための資質・能力を養うことができる学習

③ 道德的行為に関する体験的な学習

役割演技などの体験的な学習を通して、実感を伴って理解する学習。様々な問題や課題を主体的に解決したり、道德的価値を実現するための資質・能力を養うことができる。

以上、学習の指導方法のイメージは「別紙1」として、報告書の中に掲載されています。しかし、示されている指導方法も例示にすぎません。「型」を示しているわけではないので、それぞれの要素を組み合わせ指導を行うことも考えられます。

重要なことは、教師が実態を踏まえて、授業の主題やねらいに応じて、適切な工夫を加えながら適切な指導方法を選択することです。